

日本人 x 外国人 多文化共生のまちづくりを伝える

ヨークピア

2021 年秋号



外国語コミュニケーション講座 外国語で「つながる」を始めよう！

横浜市国際学生会館へようこそ！

私が考える多文化共生

横浜市多文化共生総合相談センター Q&A 相談の現場から
多言語で生活情報を発信しています



外国語コミュニケーション講座

外国語で「つながる」を始めよう！

YOKE では、英語 6 講座とスペイン語 3 講座を前期と後期に分けて開催しています。講座では、英語またはスペイン語でのコミュニケーションを通して「参加者ご自身が伝えたいことを伝えるための会話力をつける」ことに重点をおいていることが特徴です。また、「外国人との多文化共生のまちづくり」を目指して活動している YOKE ならではの講座づくりになっています。「英語やスペイン語を話してみたい！」と思う人誰もが楽しく参加できる YOKE 外国語コミュニケーション講座を紹介します。

コミュニケーションで心をつなげよう

YOKE のコミュニケーション講座はレベル別のクラスを設定しています。どのクラスも「(英語またはスペイン語で) 自分の伝えたいことを伝えることを大切にする」という共通の目標を掲げています。母語以外の言葉で伝える時、迷いや言い間違えが起きることは当然です。クラスでは、伝えたいことをお互い理解しようとする姿勢を大切に、言い間違えを恐れずに発言できる雰囲気の中で授業を進めるので、緊張することなく参加できるでしょう。コミュニケーションを通して、言葉の習得だけでなく参加者同士の心がつながり、講座そのものが参加者のみなさんにとって楽しい場所となることを目指します。

また、母語以外でのコミュニケーションが、「日本で暮らす外国人のみなさんが日本語を話すときのような気持ちなのかな」想像できる機会にもなれば、私たちも嬉しいです。

発言が少ない先生から声をかけて、バランスをとってくれます



参加者の声

間違いを否定せず、話しやすい雰囲気や、進行にこだわりすぎないことが良いです。わからなくても、そういいやすいので、これからも自然なスピードでどんどんお話しできればと思います



喋るだけの英会話授業ではなく、外国語を理解するための異文化・多文化理解の基本を教えていただき、感謝しています



参加者の声

講師の経験に基づき、多方面にわたる話題を詳しく説明してくれます。日本での生活が長いと思われ、日本人に合った内容です



言葉だけではなく、世界の暮らしや文化も知る

YOKE コミュニケーション講座の講師は、出身国地域や経歴が様々です。世界の国々で暮らした経験を持つ講師の話から、各国の暮らしや文化を知ることができます。様々な国のことを知る楽しさ、違いを知った時の驚きは参加者のみなさんにとって異文化理解の入口となることでしょう。講師の話が世界の国々や人々へ興味を広げる更なるきっかけとなり、講座参加途中で海外へ行った方もいます。講座で聞いた話が、参加者のみなさんにとって何らかの形でヒントや背中を後押しするきっかけになることを願っています。

YOKE の活動に参加するチャンスも

YOKE では、多文化共生に関する様々な事業を行っています。コロナ禍以前は、YOKE 日本語教室に通う外国人のみなさんとの交流会参加や、市内の小学生が国際機関を訪問するプログラムで講座参加者がアテンドとして活動する機会などがありました。みなさんが安心して集まることができる状況になりましたら、このような機会を設けていきます。

コロナ禍を経て

コロナ禍以前、YOKE の講座は全て対面で実施していました。新型コロナウイルス感染症の心配が広がった 2020 年冬以降対面での授業ができなくなり、それに代わる方法をしばらく模索する時期がありました。その後、オンライン (zoom) を活用した外国語オンライン特別講座「パソコンでコミュニケーション！」を新設しました。当初、オンラインでの講座は馴染みがないこともあり導入について様々な懸念や課題がありました。そこで、私たちは外国語講座にご参加いただいた方は、参加者・講師・講座担当者みんなで共に、オンライン授業の参加方法を一から学べる無料講座にも参加できるという特別講座を実施しました。当初は戸惑われた方がたも、オンライン講座が始まると「勇気を出してやってみたら、思っていたよりおもしろかった」、「マスクをしないで話せるから、相手の反応や表情がわかって、とてもよかった」という声をいただけるようになりました。そして、「外国語で会話できる時間が心を満たしてくれた」との声もありました。オンライン講座開設まで、参加者のみなさまにはしばらく待っていただく期間があり、その間は参加者同士のつながりが途絶えてしまう期間でもありました。「心を満たしてくれた」という声は、私たちの講座の意義を改めて確認できる機会となりました。(外国語コミュニケーション講座担当)



講師のみなさんに聞いてみました！

Q 1. クラスで一番大切にしていることは何ですか？

Q 2. これからコミュニケーションクラスに参加したいと考えている読者のみなさんへメッセージをお願いします。

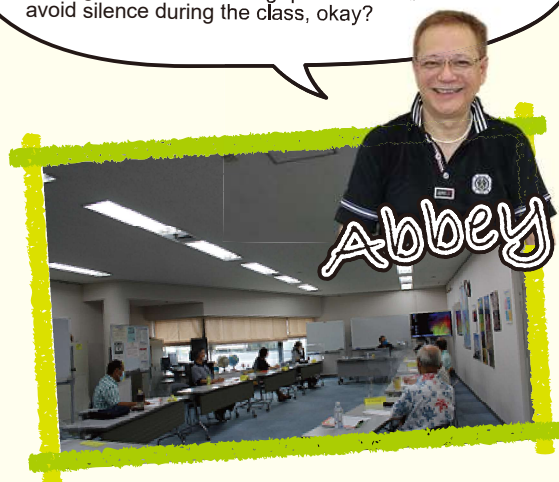
A1. Students will have plenty of time to talk together.

A2. If you enjoy speaking English, and want a chance to use it with others, come along and join us!



A1. Having a lot of time to enjoy the pair-work to establish friendships among the classmates.

A2. Why would we like to learn and practice English? Because we make mistakes and have many questions for the things we don't know. So don't be afraid of making mistakes or asking questions and avoid silence during the class, okay?



A1. Que siempre haya sonrisas, respeto mutuo y sobre todo interés por continuar aprendiendo.

A2. Hola, ¡mucho gusto! Les invito a visitar sin falta nuestras clases. Abriendo la puerta de conexión con otras gentes y la cultura del mundo hispano, vamos a disfrutar y extender juntos el círculo de comunicación.



A1. Even before physically running my class, I invest most on the most important part of running a unique communication class -preparation. While preparing, I try to imagine my lesson through student's eyes and anticipate their possible questions. Having a prepared answer helps allow the class to run concisely and smoothly.

A2. Communication with friends and acquaintances is all about fun. In the class, we are all equal and wish to share our thoughts, opinions, and support with others. So come and join the fun!

後期中から、ユニークな講師も加わり、新クラスが開講予定！

スケジュール、参加費、講師のプロフィール等詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.yokeweb.com/gogaku/>



横浜市国際学生会館へ ようこそ！



横浜市国際学生会館マスコット「ラブアースベア」

学生会館の仲間と会館の様子を紹介するよ



横浜市国際学生会館は、昔ながらの風情と多文化が入り混じる鶴見区にあります。

鶴見駅東口から国道15号を渡り、更に鶴見川に架かる潮見橋を越えると、本町通商店街の入口が見えてきます。昔ながらの風情が漂う商店街を進んだ先にある周辺で一番高い建物の中に「横浜市国際学生会館」があります。

横浜市国際学生会館（以下、学生会館）は、横浜市が開設した外国人留学生・研究者等（以下、留学生）の宿泊施設です。（公財）横浜市国際交流協会（以下、YOKE）は、指定管理者として学生会館の施設を管理しています。学生会館には、21か国/地域、80人の留学生や研究者が入居しています（2021年4月現在）。留学生に入居施設を提供するほか、地域のイベントに留学生が参加することで地域住民のみなさんとの交流を深め、学生会館が主催するイベントや講座を通して留学生の出身国・地域や留学生自身のことを伝える取組を行っています。



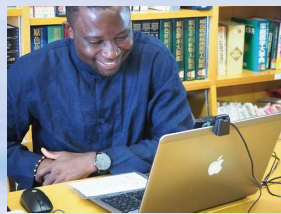
本町通商店街入口

文化紹介や語学サロンを通じた地域との交流

学生会館では、定期的に留学生の母国を紹介する講座や留学生が講師となる語学サロンを開催しています。マンツーマンまたは少人数での開催なので、留学生とのやり取りを十分に楽しんでいただけます。また、地域内外の人々との交流を通じて留学生のみなさんに日本について知ってもらう機会を作っています。「海外の文化を留学生から直接聞いてみたい」「言葉を学びたい」と思っているみなさま、是非ご参加ください。



福島県西会津町との交流会



オンラインサロン



日本語チューターボランティアさんによる日本語レッスンの模様



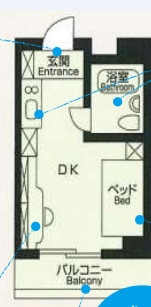
てるてる坊主コンテスト（梅雨の時期に開催）



扉にはお気に入りの絵が貼られています。



各部屋に机が用意されています。このような感じで勉強できますよ。



単身室
部屋の広さ
18㎡

各部屋にユニットバス、トイレ、ミニキッチンがあります。自炊している学生も多いです。



ベッドスペース。壁に飾られているのは佳音さんの作品。

お部屋紹介

学生会館に入居している陳佳音さんが、お部屋を紹介してくれました。



バルコニーからは、横浜の景色が一望できます。天気の良い日は綺麗な富士山が見える部屋も！

家族室・研究者室



学生会館には、家族で入居できる部屋もあります。私たちが入居している家族室・研究者室の間取りです。

家族室
研究者室
部屋の広さ
38㎡



留学生のみなさんに学生会館での生活について聞きました。

①出身国・地域 ②学校 ③学生会館の生活について ④学生会館周辺でお気に入りの店



アグスティン ニカ ディヤ さん

①インドネシア②横浜国立大学大学院③とても楽しいです。スタッフのみなさんが優しく家族みたい。学生会館の図書室がお気に入りです。④業務スーパー、ドン・キホーテはハラルの食材を買うことができます。鶴見駅西口のパキスタン料理「DERA-D-43」がお勧めです。



アディカリ ビベック さん

①ネパール②岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校③楽しいです。いろいろな国の友だちができ、話をすることができます。スタッフが優しいです。出前講座の講師もやってみようかな。④(本町通商店街の)オリジンキッチン(唐揚げ弁当がお気に入り)、業務スーパー、マルエツ、そして1000円カット。



延 宇康 さん

①中国②東京都市大学③まあまあ、楽しいです(笑)。と言うのは、現在就職活動中だから。日本での就職を希望しています。週1回、チューターさんと会話を中心とした日本語の勉強をしています。④近く中華料理屋さん。2、3人で行ったりします。業務スーパーは中国の食品が多いですよ。



グェントアン ギアー さん

①ベトナム②関東学院大学③とても楽しいです。いろいろな国の人と交流できるし、友だちになれます。図書室がお気に入りです。富士山が見えます。④ドン・キホーテ、ライフ(スーパー)。ベトナムの食品が多いです。自炊しています。



ちん かのん 陳 佳音 さん

①中国②東京藝術大学大学院③楽しいです。家賃が安いので助かります。スタッフのみなさんが親切で、学生会館を出る時に「行ってらっしゃい」と声をかけてくれるのが嬉しいです。④イオンは24:00まで開いているので便利です。ライフ(スーパー)は夕方お惣菜が割引になるので、利用しています。



ちよう しょうれん 張 曉琳 さん

①中国②神奈川大学大学院③以前、友だちが学生会館に住んでいたの遊びに来て知っていました。新型コロナウイルスの感染が心配です。④業務スーパー、ライフ(スーパー)、やさしいおばあさんがいる八百屋さん。本町通商店街の中華料理屋さん「華榕楼」がお勧めです。



モハメド マハムード さん

①エジプト②横浜国立大学大学院③学生会館では新しい友だちがたくさんできました。地下の体育室で運動や、バスケットボールを楽しんでいます。図書室は私のもう一つの部屋です。オンライン会話サロンでアラビア語を担当しています。④イオン、ライフ(スーパー)、近所の八百屋さん。



り かけい 李 佳慧 さん

①中国②横浜国立大学大学院③とても楽しいです。図書室や体育室を自由に使うことができます。体育室でバドミントンをするのが好きです。新しい友だちをつくることができました。④本町通商店街の「丸商店」。中華材料を買うことができます。



レダンゴア さん

①ベトナム②関東学院大学大学院③とても楽しいです。いろいろな国の人と交流できるし、友だちになれます。図書室がお気に入りです。富士山が見えます。新型コロナウイルス感染が心配で、今は外出を控えています。④ドン・キホーテ、ライフ(スーパー)。ベトナムの食品が多いです。自炊しています。



チュクイフェオマローズマリー さん

①ナイジェリア②横浜国立大学大学院③楽しく過ごしています。図書室がお気に入りの場所です。窓からの景色が素晴らしいです。学生会館でたくさん友だちができました。④業務スーパーは商品が多く、安く買うことができます。鶴見駅東口の八百屋さんも気に入っています。



りゅう ひん りょう き 劉 彬さん、凌 綺さん

①中国②横浜国立大学大学院③窓からの景色が綺麗です。留学生の活動が多く、みんなで一緒に楽しめます。体育室が良いですね。④フィットケア・デポが安く良いです。インド料理屋さんが好きです。



みなとみらい方面を一望できます。



留学生に人気がある図書室



音楽室では楽器の練習もできます。



共用パソコンとプリンターもあります。

留学生をサポートする「レジデントアシスタント (RA)」

学生会館に入居できるのは、留学生だけではなくありません。神奈川大学外国語学部中国語学科に通う佐藤雄馬さんは、現在学生会館でレジデントアシスタント (RA) として活躍しています。日本語を十分に話すことができ、留学生が病院へ行くときに付き添うなどの生活サポートの他、学生会館のイベント企画をスタッフと共に担当しています。家族で滞在する留学生のお子さんと一緒に折り鶴を作って遊ぶ機会もあるそうです。

佐藤さんが RA として入居するきっかけとなったのは、小学校 5 年生の時に参加した学生会館のイベント「地球村一日留学」での留学生との出会いです。中国語を専攻している佐藤さん、中国の留学生と共に暮らすことができるのも佐藤さんにとって大変有意義な環境であることでしょう。



学生会館について動画で見ることができます。

横浜市国際学生会館に関する動画を YouTube にアップしています。この動画は、当時入居していた留学生が中心となり作成されたものです。学生会館での生活や設備について詳しく知ることができます。



https://www.youtube.com/watch?v=Q_3el5zrSQY

私たちが留学生のみなさんをサポートします。

入居する留学生のみなさんの生活を私たちスタッフがサポートします。わからないこと、困ったことがありましたら何でも相談してください。日本での楽しい思い出を一緒にたくさんつくっていきましょう！



横浜市国際学生会館入居概要

- 対象 横浜市内の大学・短期大学の学部、大学院の修士・博士課程、専修学校の専門課程のいずれかに在籍し、「留学」の在留資格を有する人と RA※。
- ※RA は、日本人または永住者資格を有する学生。
- 募集 毎年 12 月初旬募集案内配布 (学生会館、市内大学、専門学校等を通じて入手可)
- 申込み 2022 年 1 月 4 日 (火) ~ 1 月 31 日 (月) 17:00 ※2022 年度

詳細は、12 月以降横浜市国際学生会館のホームページで公開予定です。



<http://yoke.or.jp/yish/>

学生会館には、いろいろな国から来た人たちがいます。入居したら、たくさんの人とお友だちになってください。



館長メッセージ

横浜市国際学生会館館長の村本です。

私が手にしているのは、面談の際に留学生のみなさんお一人おひとりからいただいたサインです。これは私にとって大切な宝物で、大切にしていきたいと思っています。ここは留学生のみなさんの家であり、私たちは家族です。勉強だけでなく、仲間との交流を大切に、ここでの滞在が日本のことを知ってもらえる時間になることを願っています。

私が考える多文化共生



(公財)横浜市国際交流協会 (YOKE) では、2020年7月から小野崎が理事長に就任、2021年4月から鈴木が事務局長に就任しました。YOKEが目指す「多文化共生」とは何かを小野崎と鈴木の本メッセージを通してみなさまにお伝えします。

まずは交流し、お互いのことを知り、コミュニケーションを図ることから

小野崎 信之



横浜市の在住外国人の人口が10万人を超えた今日、地域、職場、学校などの様々な場面において、外国人または外国につながる人々と日本人が一緒にいることは、普通の光景になりつつあります。現在の状況になるずっと前から、横浜市においては、ボランティアの皆さんをはじめ先人たちのご努力により、外国人の方々を日本の社会のなかで受け入れ、サポートする体制が整えられてきました。しかし、いまだに、外国人と日本人の間、あるいは日本人コミュニティと外国人コミュニティの間で軋轢が生じることや心を痛めることが、しばしば起こっているのも事実です。その原因はいろいろ考えられますが、主に言葉の壁と心の壁にあると思っています。言語の壁については、学習することや便利な機器を使うことによって乗り越えることは可能かもしれませんが、一方で、心の壁をなくすことは容易ではありません。それは、無知ばかりでなく、偏見や、自分と同質でないものを排除しようとする気持ちなど、様々な要因があると考えています。そうした障壁を取り払うには、まずは交流し、お互いのことを知り、コミュニケーションを図ることから始まると思っています。また、外国人の方を社会のなかで孤立させないことが重要であると思っています。外国人と日本人、外国人コミュニティと日本人コミュニティの間にある障壁を取り除き、課題解決に向けてコーディネートすること、それはYOKEの重要な役割であると認識しています。特に、子供たちは自分で問題を解決するすべを持っていません。自ら望んで日本に来たのではない子も多いと思います。そんな子供たちが、様々な問題を乗り越えて成長し、自分の将来に希望を持てるよう支援していきます。

隣人である外国人と日本人があいさつを交わし、いざというときは助け合ったり、職場の同僚である外国人と日本人が同じ目標やタスクのために力をあわせたり、学校では日本人の子供たちと外国につながる子どもたちがお互いの国の文化を認め合い自らの出自を誇りに思える、そんなことが当たり前になる社会したい、そう思います。そのために、組織の力を結集してまいりますので、どうぞ関係者の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

公益財団法人 横浜市国際交流協会 理事長 小野崎 信之

私たち一人ひとりが手の届く範囲で、人を思いやり、声をかけ、つながりを作ることが多文化共生の原点

鈴木 一博



この夏、コロナ禍のもと開催された「東京2020大会」が幕を閉じました。この大会の基本コンセプトのひとつは「多様性と調和」。あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩していく、そしてこの大会を多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐくむ契機とする、というメッセージが込められていました。

この大会と時を同じくして急拡大した感染症は、私たちの生活や行動を一変させ、人と人のかかわり、つながりを断ち切りました。異なる人種を排斥するようなエスカレートした行動についての報道も見受けられました。隣近所の付き合いも、職場での昼休みも、以前のようなコミュニケーションがとりづらくなっています。心が知れた人どうしならばともかく、初対面であったり付き合いの浅い人だと、距離をとったり言葉を交わさないという発想や行動に出てしまいがちです。同じ日本人どうしでさえ、このような中で、会話もままならない外国人の方が身近に暮らし始めたら、距離を縮めることは難しいかもしれません。でも、お互いひとりでは生きていけません。ましてや感染症や災害が続くような世の中では、つながり助け合うことがこれまで以上に大切になっています。私たち一人ひとりが手の届く範囲で、人を思いやり、声をかけ、つながりを作ることが多文化共生の原点だと思います。

市内には11の国際交流ラウンジが活動し、スタッフやボランティアによる通訳や相談、日本語教室、若者の学習支援など、地域に暮らす外国人や日本人のみなさまがつながり、支え合う身近な交流が生まれています。鶴見にある国際学生会館では、各国から集う留学生が地域と交流しながら、この国で学んでいます。最近では、対面の活動の多くがオンラインに置き換わっています。もちろん対面に勝るコミュニケーションはないと思いますが、安心と安全を確保しながらコミュニケーションの頻度を上げることで、私はオンラインのメリットも大いに感じるようになりました。

「3日住めばハマっ子」という言葉は、多様性を柔軟に受け入れてきたこの横浜の地に住む人々の気質を表しています。この言葉のとおり、誰にとっても暮らしやすい横浜となるよう、YOKEはさまざまな活動を支え、多文化共生が誰にも身近なものとなるよう取り組んでまいります。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 横浜市国際交流協会 事務局長 鈴木 一博

横浜市多文化共生総合相談センター 相談の現場から



ポルトガル語で相談したいです。体調が悪く、熱やどの痛みがあります。病院でPCR検査を受けたいのですが、どこで受ければよいですか？



かかりつけ医があれば、三者通話で通訳しますので、まずはかかりつけ医に相談してみましょう。PCR検査は、医師の判断により実施されます。もしないようなら、横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター（045-550-5530）に連絡してください。日本語での連絡が心配な場合は、厚生労働省の保健所電話通訳サービス（03-6436-4818）を利用できます。また、緊急を要する場合は、救急車を呼びましょう。救急車はスペイン語・英語・中国語対応が可能です。

（このケースでは、かかりつけの〇〇内科ではPCR検査は実施していないものの、近隣で診察できる病院を紹介いただけました。電話での簡単な聞き取り→当日午後の診察・PCR検査予約ができました。）



横浜市多文化共生総合相談センターでは、外国人のみなさんからの質問に11言語で対応しています。
お気軽にご連絡ください。電話 045-222-1209



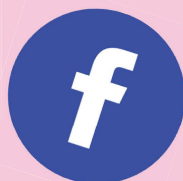
English



中文

Facebook グループ または LINE に登録すると横浜市の生活情報を多言語 * で受け取ることができます。みなさまからの登録をお待ちしております。

* 英語、中国語簡体字、スペイン語、やさしい日本語



横浜の生活情報
よこ yoko

横浜市多文化共生総合相談センター
公式 LINE

横浜市多文化共生総合相談センター公式 LINE では、生活情報配信のほか、相談の対応を行っています*。

* 個人情報を含む内容は送信しないでください。



Español



やさしい日本語



@565xgbqz

寄付をいただきました

鶴見大学附属中学校・高等学校 様
より、ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

寄付金は、ご指定いただきました事業に充当し、有効に活用させていただきます。





公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5階

TEL 045-222-1171（代表） FAX 045-222-1187

E-mail yoke@yoke.or.jp

URL <https://www.yokeweb.com>